

## コンビナートC4活用連携事業の実施について

富士石油株式会社  
住友化学株式会社

富士石油株式会社（本社：東京都品川区、社長：関屋 文雄、以下「富士石油」）、住友化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：廣瀬 博、以下「住友化学」）の2社は、両社が共同で実施する「コンビナートC4活用連携事業」について、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（以下「RING」）が公募した平成21年度「コンビナート連携石油安定供給対策事業」に応募し、このたび補助金交付対象事業として選定されました。

## 1. 背景

コンビナート連携により、石油精製業を中心とするコンビナート域内外の連携設備の効果的設置による機能の拡大融合を促進し、製油所の競争力を強化するとともに、石油資源の有効活用を図り原油処理量を減らすことで、エネルギーセキュリティを確保することが重要な課題になっております。このため、経済産業省からの補助金に係る平成21年度「コンビナート連携石油安定供給対策事業」の公募が、RINGでなされました。

## 2. 事業概要

## (1) 事業の名称

コンビナートC4活用連携事業

（コンビナート間のブタンおよびブチレンの供給・受入配管の新設事業）

## (2) 事業期間

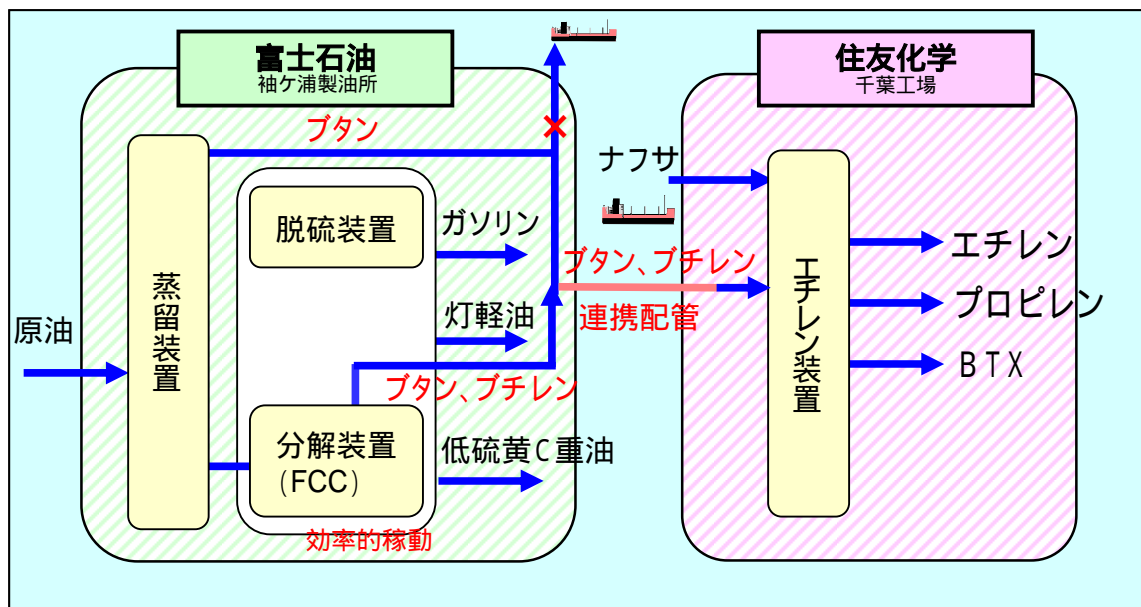
平成21～22年度

## (3) 実施場所

千葉県 千葉地区（富士石油袖ヶ浦製油所、住友化学千葉工場）

## (4) 実施内容

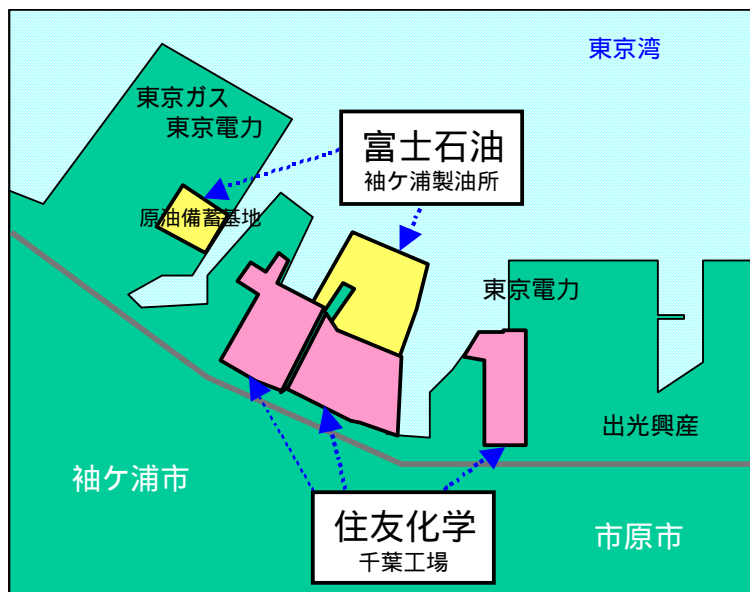
富士石油袖ヶ浦製油所で生産されるブタンおよびブチレン（C4）を、住友化学千葉工場のエチレン原料として供給するための配管および関連設備を設置します。これにより、富士石油の流動接触分解装置（FCC）を有効に活用することが可能になるとともに、住友化学のエチレンプラントを効率的に操業することができ、原油処理量削減、石油の安定供給が図れるものです。



(5) 効果

- ・原油処理削減量 4.9 万kl / 年
- ・両社は、これまでのエネルギー面の融通に加え、本事業による副生余剰留分(C4)の活用を具体化させることで、今後の更なる連携強化につなげるものです。

位置関係図



以上

本件に関するお問い合わせ先

富士石油株式会社	： AOC ホールディングス(株) IR・広報部	03 - 5463 - 5065
住友化学株式会社	： コーポレートコミュニケーション部	03 - 5543 - 5102